

村の農業振興の基礎資料

この資料は税金の対象とか

農家の不利益のために使用しない

昭和三十三年八月一日現在を時点として全村地域に住所を有する一反以上の農地を耕作する、農家について洩れなく農家台帳を作成するものであります。その実施に当つては、後日当委員会より選任委嘱されまして百名の調査員の方が聴取記入に依り逐次整備されてゆくものであります。農家台帳の作成動機、経緯としましては、昭和三十三年に農林大臣より全国農業會議所に対し農業振興に関する諮問が有りました。その答申が全国の農家委員より提出された意見の結集であります。したがって、農家台帳の作成は農業委員会にとつては、村々の農業振興事業の基礎資料となると同時に、農地関係事務の厳正、適確な処理のために重要な資料となるものであります。申す迄もありませんがわが国の農業は戦後十年余を経た今日、他産業の躍進に比べて自り取残され生産性に於ても所得、収益の点に於ても後退的なものとなり、他産業との経済的差はますます増大する傾向であります。その徴は著しく全国六百万農民の上に暗雲と低迷しているものであります。農業の転換期、農政の曲り角と喧伝される今日、斯業に掌つてゐる農民はもとより、農業と関連を持つ団体、各種行政機関は其の打開策に腐心しつつも矢張り時代の潮流に押さず事のできなない状態にあるのではないですか。政府においては、今後の農政の指向として新農山漁村建設計画という村造り運動に踏出す事となり、助成事業として推進する事となりました。当村におきまして、この施策運動に呼応し地域的要望と相俟つて着々その成果をあげつつある次第であります。御承知のように農業委員会は、昭和三十三年に法律の改正により従来の農地関係事務に加えて、農業振興、或いは村造りの仕事の計画を樹てそれを推進して行くという重大な任務が課せられたものであります。昭和三十三年農林大臣より全国農業會議所に対して「農業委員会が農業振興計画を樹立しそれを推進して行くに當つての問題点と、それを解決する為の対策は、どうあるべきか」について諮問があつたのであります。その答申に当全国農業會議所は、全国津々浦々に到る所の農業委員会に対して諮問の内容を示すと共に各地各様立地、生計を異にする全国農山漁の農民生活に直結する市町村農業委員会の意見を徴し之を基幹とする答申をしたのであります。之は國が農業振興計画に對する事業の一翼を農業委員会に委ねたものと思われまふ。農林大臣の諮問に對する答申項目は大体、四項目に要約する事が出来ると思ひますが、その第一項に市町村の農業地域、或いは部落毎に專業事業別や、階層別等に應じて營業の準様タイプを策定し多くの農家がそれに近づくような援助と指導計画を立てる事が必要とし、それがために必ず家族勞力や土地資本等の状況を全農家について調査する事が先決問題であるとする云々観

大豊村委託、水稻肥料試験

その他展示ほ生育状況中間報告

無加里区は

ゴマ葉枯病が多い

区 分	草 丈	分けつ
三要素区	96.0 ㎝	16.4 本
無窒素区	95.2 ㎝	12.8 本
無燐酸区	94.2 ㎝	15.2 本
無加里区	99.0 ㎝	16.0 本

区 分	草 丈	分けつ
三要素区	96.0 匁	16.4 本
無窒素区	95.2 匁	12.8 本
無磷酸区	94.2 匁	15.2 本
無加里区	99.0 匁	16.0 本

講座

農 業 講 座
 一、植付本数試験は二本、
 三本、五本、四本、六本の
 うち現在二本植付区は一五
 ・一本に対し六本植付区は
 一六・一本と
 なつており、
 植付本数の多
 少は概して一
 株分けつ数と
 は、あまり関
 係がないよう
 である。
 二、三本植区
 の方が無効分けつ数は少い
 と見られている。
 一、窒素の適量試験は七・
 五K区、九・三K区、一一
 ・二五K区、一三・二五K
 区（いずれも窒素成分十ア
 ル（ル当り））

素牛百頭

農家へ導入

各農家へ導入

肥育は一ケ年

ば、それだけ肥育農家の所得は増すこととなる。各農協別の頭数は次の通り

豊永二十五頭、
尚、各農家の技術指導のため農協の宮農指導員が定期巡回するほか、役場産稼課の一括になつて技術研修の機会をもつてけることになつてゐる。

造林資金の

利用について

本年度は資金棒が不足する見込みです。

借入希望者は早期（九月末日まで）に借入手続きを取つて下さい。

貸付条件は次の通りです。

一、補助造林の場合（造林補助金を受けた場合）事業費から補助金を差引いた残額の八割まで借入でできます。

二、非補助造林の場合（補助金を受けない植栽、下刈、除伐、技打、施肥等）事業費の八割まで借入でできます。

利 率	六分五厘
据置期間	十五年
償還期限	十五年

二、非補助造林の場合（補助金を受けない植栽、下刈、除伐、技打、施肥等）事業費の八割まで借入でできます。

利 率	四分五厘
据置期間	二十年
償還期限	十年

一、補助造林の場合（造林補助金を受けた場合）事業費から補助金を差引いた残額の八割まで借入でできます。

最寄りの森林組合、林業改良指導員又は林産課、森林組合連合会、樺多地方産業事務所林業課へお問合せ下さい。

大豊村青少年クラブ技術交換大会

一位に大田口4HC

大豊村青少年ク
ラブ技術交換大
会は、七月十四
日午前十時より
が入賞、各出題の解答説明

農業の共同化を

大王上山下久壽喜

新しい農業の壁ともいえる農地法による零細土地所有制、自作農主権などの足かせについて、法人（農林会社）化が、はばまれていました。ところが十二月でお流になったこの問題も四月の国会では認められ、百姓もやつと人間になつたかの感じがします。

しかし農林漁業基本問題調査事務局の発表によると、十年後には日本経済成長七・二％に対し農業は二・五％で余り人間の資格もないかのように思います。

米、麦百姓は頂点に來たのではないでしようか。

畜産物は日本経済成長率より高く伸びることです。このあたりで現代のタヌキの話、米の生産費を考えないで、単なる稲作と競争をすること、技術と何々役員という肩書きばかりの古代の篤農家タイプ、これらは早く拭いさらねばなりません。レクリエーションとか、読書、話し合いの中で、農政や経済的な勉強を積んで行く、そのようにならなければ、その農を営む企業家、こんな農業を交つて行かなくてはと考えるのは僕だけではないと思います。

土佐名物のツレバリ（つれだつての小便）とか、カンニングにばかり活用した共同精神を法人問題等に関連して農産物生産、出荷と農業の方にはまわして共同化が営まれる日も、そう遠いことではないでしよう。

誰の前でも私は百姓ですといつて恥ない、自己満足でなく、農政に矛盾のない余数ある立場で平等な百姓。大人一グループで経営する農林会社で日曜はハイキングに、町にと楽しい日々の送れる農業、そんな新しい村を夢みています。

大豊村農民学級

次回は九月下旬

成績一位太田 四日クラ

大杉農協で貸出中
公民館では農業図書の利用をもつと活発にするため、七十冊の農業関係図書と大杉農業協同組合に依託して貸出しを行つてゐる。貸出しは一回一冊以内で、期間は一週間以内となつてゐるが、図書の内容によつては期間延長も出来る。利用者は大杉農協職員に申込み借り出すこと。七十冊の中には最近購入の新刊書も多数ふくまれてゐる。

公民館委託図書

大豊村中央公民館と大豊村農業研究会連合会が共催で開設をしている「大豊村農民学校」は大田口小で、それに二回開かれたが、それどころか二〇名余り受講があり、しかも好評を博した。第一回は八月十九日に稲作技術（普及所小笠原技師）これからの農家経営諸問題（堀全農場長）について開講、第二回は九月三日に畜産技術（県畜産連坂本先生）、最近の国際情勢（高知短大津田先生）について開講した。両日共、技術部面について深い知識を得、更に現代にふつて必要となる教養を身につけることが出来、これからの生活に大

好評開設中
次回は九月下旬

きな力となつた事と考えられる。次回開講は次の通りであるが尚詳細については各部落長さんを通じてお知らせする。

◇九月下旬

①有利な蔬菜の計画栽培 個々の技術と年間計画の樹て方（普及所傍士定雄技師）

②土佐の民俗 改めたいいくつかの問題（桂井和雄先生）

◇十月上旬

①果樹（カキ、クリを主として）（普及所 立花資民技師）

②科学の進歩とこれからの生活（前工業高校々長戸梶先生）

第六回消防演習大会

登山ブームの影響

立川の県有林

部落ぐるみの農休日が立
川千本部落に実現したこ
こは、こゝからつぎ、
考え方がたくさんあると
思われる。それ丈に農
木ヨヒと虎き、ノコギリ、

大杉 馭長新田 武雄

当地区の輸送改善方法は
およそ左記の様であります
が嶺北地区の方々には
洋々たる希望の光がもた
らされ必ずや地方経済の
発展に教育の振興に寄与
する事の甚大なものが有
ることを信じてうたがい
ません。

**当地区関係
輸送改善計画**

（左）旅客関係

参加資格
村内で居住する
女子青年、年令
、職業不問

村長、土長青協事務局長、
となっていた。六十名近

申し込みと問合せ先
大豊村豊永局内西土居
大豊村立
家政高等女学校

その第一の証拠は、掛金の滞納（納入）しているのは法に對する屈服であると考えうる）であると思う。ほんとうに農民から愛され、よめらばこれ以外のものならばだめのようにして、でも、納入されるはずであります。

現在、われわれは税金に追廻され更に昨午からは国保税の増加、加えて物価高となり、十分に畑の作物にさ

る「廃止」このいすれ
に改めてもらいたい。
我々は勝てない、しか
法々の正しい論、真実
必ずや、この悪制度を改

朱の
棧す
茶経
探算
力働
で
広に
よ
の
く
し